

令和3年度 事業報告

社会福祉法人景福会

令和4年5月18日作成

景福会 法人概要

1. 法人名 社会福祉法人景福会
2. 所在地 久留米市青峰3-12-1
3. 設立日 昭和51年11月8日

4. 基本理念及び定款に定める目的

基本理念 和顔愛語 穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接します。 目的 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
--

5. 沿革

昭和52年 5月 1日 特養唐孔雀園開設(50床)
昭和56年 5月16日 特養唐孔雀園増床50床、定員100床
平成 4年 5月31日 認知性老人専用居室設置(ひだまりの棟)
平成12年10月 1日 唐孔雀園デイサービスセンター開設
平成18年10月 1日 桜花台園(地域密着型特養20床・小規模)開設、唐孔雀園80床に減床
平成18年11月 1日 桜花台園(短期入所生活介護10床)開設
平成23年10月 1日 唐孔雀園短期入所生活介護事業開始(7床)

6. 事業所

施設名	唐孔雀園	施設名	桜花台園
設立	昭和52年5月1日	設立	平成18年10月1日
所在地	久留米市青峰3-12-1	所在地	久留米市高良内町3919-7
責任者	山崎 美寧子	責任者	山崎 美寧子
事業内容	介護老人福祉施設 80床 短期入所生活介護 7床 地域密着型通所介護 定員15名、元気デイ定員5名 居宅介護支援(休止中2019.10～) 配食サービス(2019.7～療養食限定)	事業内容	地域密着型介護老人福祉施設 20床 短期入所生活介護 10床 小規模多機能型居宅介護 登録25名 (通い15名、宿泊7名)

7. 理事・監事

氏名	役職	就任年月
山崎 剛	理事長	H8.4.28
山崎 美寧子	理事	H2.1.1
石橋 力	〃	H10.12.28
秋永 俊二	〃	H28.11.8
古賀 康信	〃	R3.6.9
江口 善明	〃	R3.11.27
田中 俊博	監事	R2.12.12
藤島 玄稔	〃	H29.6.18

8. 事業所別職員数(管理者除、派遣含)

R4.4.1現在

職種/勤務形態	唐孔雀園		桜花台園		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員	(10) 19	5 (13)	18	10 (23)	37	15
看護職員	2	6	1	2	3	8
リハビリ	1	1	0		1	1
ケアマネ・相談員	5		2		7	0
栄養課職員	1		1		2	0
事務職	4		3	0	7	0
運転手・當繕その他	2	0	1	3	3	3
合計	34	12	26	15	60	27

介護職員()内は介護(社会)福祉士。育休等、長期休暇者は除く

9. 財務状況

(百万円)

		2/3	3/3	4/3
損益	サービス活動収益	528	493	480
	サービス活動増減差額	▲28	▲49	▲49
	経常増減差額	▲28	▲49	▲49
	当期活動増減差額	▲28	▲50	▲49
	減価償却費	27	29	27
	補助金等積立金取崩	▲7	▲7	▲6
次期繰越収支	239	189	140	
財務	総資産	679	604	553
	自己資本	600	544	489
	借入金	17	4	0

10. 施設・事業別収益状況

(百万円)

		2/3	3/3(A)	4/3(B)	(B)-(A)
唐孔雀園	特養	302	277	272	▲5
	デイ	24	25	22	▲3
	ショート	8	0	1	1
	ケアプラン	1	0	0	0
	給食	3	1	1	▲0
合計	338	304	296	▲8	
桜花台園	特養	98	99	99	▲1
	ショート	43	41	44	3
	小規模	50	48	44	▲4
	合計	190	189	187	▲2

施設・事業別利用者推移

唐孔雀園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2021	1,912人	1,992人	1,947人	2,072人	2,100人	2,040人	2,125人	2,055人	2,084人	2,001人	1,817人	1,951人	24,096人
	2020	2,145人	2,194人	2,071人	2,080人	1,990人	1,923人	2,037人	1,950人	2,012人	2,046人	1,858人	2,010人	24,316人
	2019	2,179人	2,270人	2,246人	2,358人	2,441人	2,251人	2,319人	2,137人	2,240人	2,280人	2,177人	2,311人	27,209人
延数	2021 -2020	-233人	-202人	-124人	-8人	110人	117人	88人	105人	72人	-45人	-41人	-59人	-220人
	2020 -2019	-34人	-76人	-175人	-278人	-451人	-328人	-282人	-187人	-228人	-234人	-319人	-301人	-2,893人
デイ	2021	110人	202人	224人	241人	181人	243人	271人	236人	272人	243人	240人	256人	2,719人
	2020	252人	259人	297人	312人	304人	300人	307人	302人	344人	290人	304人	162人	3,433人
	2019	256人	238人	220人	255人	246人	271人	293人	307人	301人	286人	281人	280人	3,234人
延数	2021 -2020	-142人	-57人	-73人	-71人	-123人	-57人	-36人	-66人	-72人	-47人	-64人	94人	-714人
	2020 -2019	-4人	21人	77人	57人	58人	29人	14人	-5人	43人	4人	23人	-118人	199人
ショート	2021	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	22人	31人	21人	0人	74人
	2020	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	2019	147人	69人	78人	104人	84人	89人	97人	78人	20人	0人	0人	2人	788人
延数	2021 -2020	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	22人	31人	21人	0人	74人
	2020 -2019	-147人	-69人	-78人	-104人	-84人	-89人	-97人	-78人	-20人	0人	0人	-2人	-768人
給食	2021	167食	150食	171食	165食	165食	173食	182食	169食	190食	124食	112食	172食	1,940食
	2020	178食	162食	199食	198食	169食	165食	193食	159食	190食	170食	155食	180食	2,118食
	2019	1,097食	1,055食	1,063食	204食	227食	215食	263食	257食	244食	221食	188食	178食	5,212食
延食数	2021 -2020	-11食	-12食	-28食	-33食	-4食	8食	-11食	10食	0食	-46食	-43食	-8食	-178食
	2020 -2019	-919食	-893食	-864食	-6食	-58食	-50食	-70食	-98食	-54食	-51食	-33食	2食	-3,094食

桜花台園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2021	565人	568人	564人	598人	620人	600人	620人	600人	613人	552人	522人	592人	7,014人
	2020	598人	619人	573人	600人	620人	580人	588人	570人	594人	617人	556人	595人	7,090人
	2019	596人	620人	595人	613人	570人	576人	589人	596人	613人	608人	549人	589人	7,114人
延数	2021 -2020	-33人	-51人	-9人	-2人	0人	20人	52人	30人	19人	-65人	-34人	-3人	-76人
	2020 -2019	2人	-1人	-22人	-13人	50人	4人	-21人	-26人	-19人	9人	7人	6人	-24人
ショート	2021	264人	275人	277人	281人	248人	272人	288人	265人	267人	313人	291人	300人	3,341人
	2020	265人	253人	272人	259人	275人	231人	279人	268人	258人	282人	260人	257人	3,159人
	2019	272人	287人	267人	298人	277人	282人	275人	281人	287人	258人	258人	241人	3,283人
延数	2021 -2020	-1人	22人	5人	22人	-27人	41人	9人	-3人	9人	31人	31人	43人	182人
	2020 -2019	-7人	-34人	5人	-39人	-2人	-51人	4人	-13人	-29人	24人	2人	16人	-124人
小規模	2021	19人	18人	17人	20人	19人	18人	18人	18人	19人	20人	19人	21人	226人
	2020	21人	20人	20人	20人	19人	18人	18人	19人	19人	18人	19人	21人	232人
	2019	23人	21人	23人	21人	21人	22人	21人	21人	20人	20人	22人	21人	256人
登録数	2021 -2020	-2人	-2人	-3人	0人	0人	0人	0人	-1人	0人	2人	0人	0人	-6人
	2020 -2019	-2人	-1人	-3人	-1人	-2人	-4人	-3人	-2人	-1人	-2人	-3人	0人	-24人

特養の利用者諸表(唐孔雀園+桜花台園)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	2	4	1	3	2	0	0	15	78.0歳
女	3	3	4	14	15	22	5	4	70	86.9歳
計	6	5	8	15	18	24	5	4	85	85.4歳

男性 最高 93歳 最低 60歳

女性 最高 102歳 最低 62歳

在所期間

(単位：名)

性別\期間	1年未満	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男	6	3	2	1	1	0	0	1	1	15
女	19	14	9	7	1	2	3	4	11	70
計	25	17	11	8	2	2	3	5	12	85

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	50	19	14	12
介助で出来る	10	32	24	17
全然出来ない	16	34	47	56
経管栄養	5			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	名	率(%)	問題行動	名	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	3	3.5%	独語	15	17.6%
大声・暴言	8	9.4%			
暴力・介護抵抗	8	9.4%			
収集癖	7	8.2%			
異食	3	3.5%			
不潔行為	5	5.9%			

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	0	8	2	4	15	3.5
女	1	4	16	25	24	70	4.0
計	2	4	24	27	28	85	3.9

事業実績表(法人本部・事務部門)

理事会・評議員会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
5月19日	監事監査	唐孔雀園 会議室	2名	令和2年度事業報告・財産目録・ 貸借対照表・収支計算表等の監査
5月28日	理事会	決議省略 書面	理事 6名 監事 2名	令和2年度事業・決算報告・監査報告の承認 任期満了に伴う理事・監事・評議員の推薦 任期満了による評議員選任・解任委員の選任 定時評議員の招集(決議省略)
6月9日	評議員会	決議省略 書面	評議員 7名	令和2年度事業・決算報告・監査報告の承認 任期満了に伴う理事・監事の選任
6月17日	理事会	決議省略 書面	理事 5名 監事 2名	理事長の選任 同一労働・同一賃金による給与・賞与規程の改定 ハラスメント防止規定の新設
11月13日	理事会	久留米市 マリターレ創世	理事 5名 監事 1名	理事候補の評議員会への推薦 臨時評議員会の招集 給与・賞与規程及び再雇用職員規程の改定 2021年度上半期実績報告
11月27日	評議員会	久留米市 マリターレ創世	評議員 5名 理事 3名	理事の選任 2021年度上半期実績報告
3月12日	理事会	久留米市 マリターレ創世	理事 6名 監事 2名	令和3年度補正予算・令和4年度事業計画および予算 給与賞与規程、育児・介護休業規程の一部改訂 臨時評議員会の招集 介護福祉士資格等取得支援制度の制定 社会福祉法人役員等の賠償責任補償の契約締結
3月26日	評議員会	久留米市 マリターレ創世	評議員 4名 理事 3名	令和3年度補正予算 令和4年度事業計画および予算

外部研修・説明会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
6月10日	令和3年度社会福祉法人 経営者セミナー	オンライン研 修	1名	令和2年度監査・実地指導状況 働き方改革について
6月11日	社会福祉法人役員研 修	オンライン研 修	1名	Eラーニングで学ぶ社会福祉法人財務会計
6月17日	外国人介護人材 プロジェクト報告会	オンライン研 修	1名	筑後地区老施協介護人材プロジェクトチーム の報告
6月30日	福岡県老人福祉施設 協議会総会	オンライン	1名	令和2年度事業報告・収支報告等
7月15日	久留米老人福祉施設 協議会総会	久留米 ホテル マリターレ創世	1名	令和2年度事業報告・収支報告等
7月21日	事業継続計画策定研 修	久留米 ビジネスプラザ	1名	感染症及び自然災害BCP策定
11月2日	厚労省委託事業 ハラスメント研修	オンライン	2名	職場におけるハラスメント対策(人事担当者向 け)
11月24日	改正個人情報保護法 について介護事業者 が押さえておくポイント	オンライン	1名	2022.4改正の個人情報保護法についてのポイ ント
12月8日	久留米地区企業内同和 問題研修推進委員会研 修	久留米市 シティプラザ	1名	講演 差別をなくす当事者になるために
1月26日	あいおいニッセイ 同和損保主催セミナー	オンライン	1名	介護事業所のICT化による業務効率化対策

唐孔雀園(特養・ショート)

■運営 ・全般

利用者様の尊厳を守り、安心・安全に日々の生活を送って頂けるようより良いサービスの提供に取り組んできました。安全面においては、転倒、車椅子からの転落事故が複数回見られました。見守り強化の体制の為の人員補充、利用者様個別の行動予測が課題としてあげられます。また職員の事故を予測した対応力、防止の為の知識習得、意識向上とともに利用者様が普段より安心して穏やかに生活して頂けるような接遇・環境づくりに努めていきたいと思っております。

衛生面においても、新型コロナ感染拡大防止にもとづき、徹底した環境整備に努めました。R3年度は、職員に1名新型コロナウイルス罹患患者が出ましたが、速やかに感染拡大防止に基づき対応することで、更なる罹患患者を出すことはありませんでした。今回の感染拡大防止の対応を基に、今後すべての感染症に対し速やかに対応できるよう、再度マニュアルの周知徹底を行っていく必要があると思われれます。

食事については、引き続き経口維持加算の取組みを行い、より細やかな記録、安全な介護技術の統一を行いました。今後も職員への資質の向上として再指導と園内研修により事故が起きないように取り組んでいきます。

今後の課題は、個別ケアに対して職員の意識づけと知識・技術の向上、申し送りを確実に行うことで利用者様の日々の変化に対応できる体系づくりを行っていく必要があります。

■施設サービス計画

担当者会議は、介護保険更新・区分変更・プラン終了(概ね1年間)時期に、サービス担当者会議を経て、作成を実施致しました。

また、新規入所者は暫定プラン(1週間以内)を作成し、1か月以内に担当者会議を開催しプラン作成を行っています。

■リハビリ

入所者のリハビリテーションの実施

入所者の身体機能評価を行い、プログラム・目標を立案し、リハビリテーションを実施している。リハビリは利用者の身体状態に応じて機能訓練室orベッドサイドを選択。

⇒平均施行者数:29.7/日

1日平均施行数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31.1	28.9	29.6	30.5	30.9	30.2	27.8	29.2	28.1	30.1	30.2	29.8

*山崎PT担当フォロー者:3名(平田智代子様、丸山千津子様、倉守俊明様)

その他

LIFE連携加算の算定開始。それに伴い、個別機能訓練計画書の書式変更および生活機能チェック表を追加。尚、ADL評価においてはケアマネージャーと情報を共有し、Barthel Indexの内容がリンクするようにしています。

■ショートの利用推進

令和3年度:新型コロナウイルス等により年間利用者日数:74日で推移致しました。

今後は、コロナウイルス感染状況及び職員体制等を考慮しながら、利用者確保に努めていきます。

■利用者・家族との関係作り

令和3年度は、新型コロナ感染拡大防止により、直接ご家族との面会を制限させて頂きました。面会解除の期間には一日の人数や、面会時間を制限したかたちで面会を行っています。ターミナル期の利用者様については、囑託医の判断を仰ぎ、新型コロナ感染拡大防止に基づき、人数・場所を限定し直接面会を行っています。

また面会が出来ないことで、利用者様の気持ちにも寄り添えるような声掛け、対応を行っています。面会禁止期間においても、電話で話しをして頂くなどの対応をとり、リモートで面会できる環境も整えています。

また面会が出来ないことで、利用者様の気持ちにも寄り添えるような声掛け、対応を行っています。

■入所待機者の確保

令和3年度の待機者の月別推移

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11	14	13	9	9	11	8	14	12	12	9	9

入所待機者数の減少しているため、病院・居宅介護支援事業所・地域包括センター・久留米市役所等への積極的な情報提供を実施し待機者の増加に努めながら、入所者数の増加を図ります。

■職員教育(研修)

令和3年度も、新型コロナ感染拡大防止により園外研修に参加することは殆どありませんでした。リモートによる研修、動画視聴による研修が行われており、通常業務を行いながら参加することが出来ました。ただし人手不足、新たな研修の形ということもあり、日程の調整が難しい面も見られています。

また、園内研修についても3密回避の為、職員を集めての研修は開催出来ませんでした。

資料の配布や動画視聴によるアンケート式の研修を行うことで知識の習得、資質の向上を図っています。

■各種委員会(改善点できたもの・改善中のもの)

・排泄ケア委員会

- ・感染予防対策の排泄ケアの研修等の勉強会を行い、予防対策を行っていたが、実際に感染者が出た際に、感染性廃棄物等の対応があやふやで混乱したため、排泄ケア用の感染対策マニュアルの必要性を感じ新規に作成を行った。
- ・排泄ケアの研修の質を上げ、陰部洗浄の取り組みを始めており、皮膚トラブルも見られないので今後も引き続き行っていく。
- ・紙オムツのコスト削減の取り組みが、コロナ禍によってあまり出来ていないが、質の良い尿取りパッドの選定や、利用者様のADLを活かした取り組みは実施出来たので、今後も勉強会などで職員の意識を高め、利用者様が快適に過ごして頂けるように努める。

・感染症対策委員会

- R3年度も新型コロナウイルス感染症が世界規模で蔓延しており、唐孔雀園でも対応マニュアルを基に感染防止を徹底してきたことにより、感染防止の基本は職員全員に周知徹底でき、日々の生活の中で役立てたのではないかと思います。
- またR3年度は、職員から1名、新型コロナウイルスの罹患者が出ましたが、その他は罹患者を出すことなく、無事に過ごすことが出来ました。
- R4年度も、引き続き手洗い・マスク着用・検温・不要不急の外出を避ける等の対策をとり、各自が感染防止の意識を高く持ち、新型コロナウイルスを含むの全ての感染症に対応していきます。

・事故防止対策委員会

- 施設を利用される利用者様及び来園されるご家族様や職員等が、事故や怪我等なく安全に過ごせるよう、定例会(月1回)で広く情報収集、対策の立案等を行ってきました。R3年度の事故発生は14件、ヒヤリハット報告書は15件報告されています。最も多い報告としては転倒・転落であり、特に車椅子からの転落が目立ちました。
- 認知症状があり、ご自分の意志で動かれる方々の事故をゼロにすることは難しいですが、見守りの強化や事故を予測できるような視点をもって、利用者様の生活を援助することで事故を未然に防げるよう取り組んでいきます。
- 引き続きヒヤリハット報告書により、施設全体として安全面の強化・情報収集を行い、委員会を中心としたリスクマネジメントの体制を整備していきます。

・褥瘡対策委員会

- R3年度も褥瘡予防に努めてきましたが、体位交換の指導が職員全員に行き届かなかった事や、利用者様の栄養状態の低下により褥瘡発生者が7名程見られました。
- また、同じ利用者様が何度も褥瘡の発生が見られ、褥瘡が完治されず、長引いたりしました。
- R4年度も、リハビリスタッフや医師・栄養士と連携し、職員全員に体位交換の指導・栄養面からのサポートにより、褥瘡予防を第一の目標として取り組んでいきます。

・身体拘束廃止委員会

- R3年度も1年を通じて身体拘束ゼロを達成出来ました。以前、身体拘束を行っていた利用者様(ミトンの使用)についても代替ケア(見守り)を行うことで対応しています。
- 今後も、利用者様の状態に合ったケアの方法を模索し、身体拘束ゼロを目指していきます。

・身体拘束適正化委員会

- R3年度も6、9、12、3月に委員会を開催し、利用者様の身体状況・ケアの方法について意見交換を行いました。
- また、6月、3月の研修会についてはコロナ禍のなか職員を集めての研修会開催は出来ませんでした。資料配布・動画視聴にて身体拘束廃止の啓蒙活動を行っています。

・接遇委員会

- 接遇マナーについては、職員間で注意しあえるような環境作りを行っていましたが、一部職員の利用者様に対する言葉遣いが十分に出来ておらず、引き続き職員間で注意し合い接遇マナーの向上を図っていきます。
- コロナ禍で、ご家族様とコミュニケーションが取り難く、信頼関係づくりが十分とはいえない中、電話による近況報告等をおこない、信頼関係づくりに努めていきます。
- 職員の身だしなみについては、適切な服装で業務に入ることが出来ました。

・入浴ケア委員会

- 入浴日(曜日)によって人員不足の日もありますが、基本的な目標でもある安心安全な入浴介助は大きな事故や怪我もなく達成出来ました。またプライバシー保護についても徹底できていました。
- 今後の課題は、職員の中に入浴を制限時間内で終了させないといけないというプレッシャーを感じながら業務に携わっていた人もいたのではと思います。利用者様もご自分のペースで入浴して頂き、職員もゆとりのある入浴介助が出来ればと思います。

・衛生管理委員会

- R3年度は、新型コロナウイルス感染症が蔓延している中ではありましたが、安全に職員の健康確保及び職場環境の向上を図れたのではないかと思います。
- ストレスチェックの実施、職員検診後の要再検者に対する受診推奨を行い、また老朽箇所の改善等の環境整備も行いました。

■利用者諸表(特養)(R4年3月31日現在)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	2	4	1	1	2	0	0	13	76.5歳
女	2	2	4	9	11	16	5	3	52	87.1歳
計	5	4	8	10	12	18	5	3	65	85.0歳

男性 最高 93歳 3月 最低 60歳 3月

女性 最高 102歳 1月 最低 62歳 8月

在所期間

(単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～9年未満	9年～	計
男	5	3	2	1	1	0	0	0	1	13
女	14	11	6	5	1	1	2	1	11	52
計	19	14	8	6	2	1	2	1	12	65

ADL調査表

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	40	18	14	12
介助で出来る	5	20	14	13
全然出来ない	11	27	37	40
経管栄養	5			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	1	2%	独語	12	18%
大声・暴言	2	3%	幻視・幻聴	4	6%
暴力・介護抵抗	2	3%	物を破る	1	2%
収集癖	6	9%	帰宅願望	3	5%
異食	1	2%	物盗られ妄想	1	2%
不潔行為	1	2%	被害妄想	3	5%

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	0	8	2	2	13	3.3
女	1	3	13	19	16	52	3.9
計	2	3	21	21	18	65	3.8

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
毎週土曜日	生花教室	毎回、生花は園内ロビー等に飾っており、利用者様やご家族に好評。
第4月曜日	誕生会	誕生カード・バラを渡し、お祝い。ご家族に誕生会の様子を手紙と写真で知らせることで、ご家族も喜ばれている。
第4月曜日	口腔ケア指導	さくら歯科訪問歯科診療の歯科衛生士より口腔ケア指導を受ける。
5月9日	母の日	利用者様に母の日のプレゼントとしてカーネーション・カードを渡す。
6月4日	防火避難訓練	角消防の指導による防火訓練が行われた。 消防署は新型コロナ感染予防のため参加せず
6月13日	父の日	利用者様に父の日のプレゼントとしてバラ・カードを渡す。
7月7日	七夕	6月より利用者様と共に七夕飾りを作り、竹を用意し玄関ロビーに飾る。利用者様には願い事を短冊に書いて頂く。
8月10日	盆供養	昨年の8月より亡くなられた利用者様の初盆の供養
9月20日	長寿のお祝い(贈呈式)	理事長より利用者様へ祝辞および記念品の贈呈
11月4日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
12月25日	年忘れ大会	サンタによるプレゼント贈呈。
1月1日	新年祝賀式典	園内マイクによる新年の挨拶。おせち料理の提供。
2月中旬	お雛様飾り	玄関ロビーにお雛様を飾り付ける。

※新型コロナ感染拡大防止のため、従来のように利用者様に集まって頂いたり、来賓、ご家族様に来園して頂く形での行事の開催はできませんでした。

■ 研修実績 (園外研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月28日	新型コロナ感染症対策 オンライン説明会	高齢者施設の職員と新型コロナ感染症の問題点等を医師や地域の保健師と共有すること
6月18日	LIFE活用研修会	フィードバックデータを利用者へ生かすLIFEの活用方法
7月15日	LIFE活用研修会	フィードバックデータを利用者へ生かすLIFEの活用方法
7月19日	ドクターメイト 無理用オンラインセミナー	ワクチン接種後の施設の動きはどう変わるか、面会対応や今後の対策
8月26日	キャリアアップ研修会	福祉・介護における利用者の尊厳
8月28日	LIFEの活用方法 について学ぶ	栄養マネジメントに活用するためのノウハウ
8月26日	キャリアアップ研修会	福祉・介護における利用者の尊厳
11月10日	感染症予防研修(後期)	冬場に流行する主な感染症とその対策
12月23日	認知症介護基礎研修 馬場	介護保険法改定による無資格者の基礎研修
2月9日	地区老協 第2回職員研修	改正個人情報俸について
2月10日	認知症介護基礎研修 黒木	介護保険法改定による無資格者の基礎研修
3月9日	給食関係者合同研修会	食品衛生法の改正等

(園内研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月19日 5月17日	口腔ケアについて	歯科衛生士より高齢者のための口腔ケアについて
5月13日	接遇研修①	施設職員のための接遇マナーについて
5月27日	倫理及び虐待防止研修①	虐待の定義・人権意識・尊重への理解・認知症への理解 虐待防止の動画視聴
5月31日	正しいオムツ装着①	ケアルートより正しいオムツの当て方について(実地)
6月28日	感染症対策研修①	スタンダードプリコーションについて
7月26日	褥瘡①	褥瘡発生のメカニズムについて
9月23日	身体拘束廃止①・虐待②	身体拘束廃止と高齢者虐待防止の動画視聴
9月27日	安全な入浴介助方法について	安全な入浴介助について(実地)
10月～11月	事故防止研修① 感染症対策訓練	コロナ禍の心肺蘇生法の動画視聴 ガウン着脱の動画視聴と訓練
10月18日	接遇研修②	施設職員のための接遇マナーについて
10月25日	プライバシー保護	個人情報とプライバシー動画視聴
11月22日	褥瘡②	褥瘡の予防法について
11月15日	正しいオムツ装着②	ケアルートより正しいオムツの当て方について(実地)
12月6日	感染症対策研修②	ノロウィルスについて 嘔吐物処理法の動画視聴
1月	リハビリ	安全な移乗(PTが各棟で利用者対応中に介護に実地指導)
2月10日	正しい食事介助方法	安全な食事介助について(実地)
2月24日	医療に関する教育	喀痰吸引について
1月24日	身体拘束廃止②・事故防止②	身体拘束をせずに事故防止を図る
3月21日	ターミナルケア	ターミナルケアについて

デイサービス

■基本方針

・全般

- 1 利用者の自立支援と生活の質の向上のために、健康体操・口腔体操等で身体機能の低下を防ぎ、在宅生活が継続できるように支援しました。
- 2 利用者と家族からの情報で、心身の状態を把握するとともに、内部研修で職員のスキルアップを図り、安全で満足できる質の高いサービスを提供しました。
- 3 コロナ禍の中、地域福祉の拠点としての対外的な活動が制限される中、地域の保健・医療・福祉の各関係機関と連携を図り、対応出来るサービスを提供しました。

・重点項目

- 1 利用者に対し、尊厳と敬愛の気持ちで接し、感謝の気持ちと笑顔を忘れずに対応しました。
- 2 利用者の、心身の状況に対応した満足できるサービスを提供しました。
- 3 利用者の、残存能力を引き出す環境づくりに努め、在宅生活で活用できるように支援しました。
- 4 担当のケアマネージャーと情報の共有化を図り、きめ細かなサービス提供に努めました。
- 5 ご家族とのコミュニケーションを密に図り、ご家族の身体的・精神的な負担軽減に努めました。
- 6 職員の外部講習が、新型コロナウイルス感染防止のため中止が多く、職員の専門性・技術向上、知識深めるために職員間による内部研修を充実させた。

■業務体制

- 1 新型コロナ感染防止のため、介護報酬改定に伴う地域包括ケアの推進、自立支援・重度化防止、人員配置・役割分担等効果的な業務体制の構築が難しかった。
- 2 令和3年度末 登録利用者数 26名 (令和2年度末 登録利用者数 33名)
利用者数 24名 (要支援者数 7名 要介護者数 17名)
令和3年度 利用者延人数 2,719名 (令和2年度 利用者延人数 3,433名)
- 3 業務の効率化を図り、経費削減に努めました。
- 4 新型コロナウイルス感染防止のため、地域の各関係機関、民生委員、自治委員等との情報交換、情報収集があまり出来ず、施設からの情報発信が少なかった。
- 5 新型コロナウイルス感染防止のため、ワクチン接種の確認、お迎え時の利用者及びご家族の体調確認、朝・昼・夕の体温確認、大型連休・正月・お盆等の県外からの帰省・外出時の健康チェックの励行、玄関での顔認証サーモメーターによる検温、加湿空気清浄機の増設、十分な換気、マスクの正しい着用、3密の排除、こまめな手洗いの励行等を実施しました。

■令和3年度年間利用者数計画・実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
3年 計画	延人数	176	273	299	324	325	325	338	351	365	364	336	399	3,875
	1日平均	7.7	10.5	11.5	12.0	12.5	12.5	13.0	13.5	13.5	14.0	14.0	14.8	12.5
3年 実績	延人数	110	202	224	241	181	243	271	236	272	243	240	256	2,719
	1日平均	6.9	8.1	8.6	8.9	9.1	9.4	10.4	9.5	10.1	9.7	10.0	9.5	9.4

※令和3年度実績は、新型コロナウイルス感染及び感染予防の為、4月は4日間の営業(26営業日) 8月は20日間の営業(26営業日)となり、新型コロナの影響で利用が大幅に減少しました。

■ 主な行事実績

新型コロナ感染防止の為、主な行事は中止しました。

他の諸行事を実施する場合は、マスクの着用は勿論、密閉・密着・密接の3密を避けて、感染防止の体制を整えて行いました。

上段()は計画、下段は実施行事

実施時期	行事名	内容・成果
4月	(お花見) 健康散歩	(さくら見学 竜王寺公園) (新型コロナの為中止) 施設下のさくら公園に、3密を避けて散歩を行った。
5月	(茶話会) 健康体操	(クイズ形式によるグループ対抗戦) (新型コロナの為中止) 職員によるラジオ体操と応用体操を実施した。
6月	(お花見) 映画鑑賞	(紫陽花見学) (新型コロナの為中止) ビデオにて娯楽作品を鑑賞した。
7月	(そうめん流し) 折り紙教室	(竹を使ったそうめん流し) (新型コロナの為中止) 職員による簡単な折り紙制作を実施した。
8月	(夏祭り) こよみ作成	(屋台を作り、ゲーム、かき氷等で祭り気分を味わう) (新型コロナの為中止) 来月のぬり絵カレンダーを作成し、自分の利用日を色分けした。
9月	敬老会	(職員による演芸等で敬老の日を祝う (該当者ごとに個別に実施)
10月	(運動会) 絵手紙教室	(利用者様と職員合同で紅白に分かれての運動会) (新型コロナの為中止) ハガキの大きさの用紙に、季節の絵を書いて、季節を感じてもらった。
11月	(茶話会) 書道教室	(クイズ形式によるグループ対抗戦) (新型コロナの為中止) お手本を見て、書道を書いてもらった。
12月	(年末お楽しみ会) ツリー飾り	(クリスマス会と一緒に実施、カラオケ、ケーキ作り) (新型コロナの為中止) 3密を避け、クリスマス用のツリー飾りと、照明器具を取り付けてもらった。
1月	(初詣) ビンゴゲーム	(成田山、高良山、日吉神社) (新型コロナの為中止) ビンゴゲームで楽しんでもらった。
2月	(節分) 書写	(豆まき、梅花見学) (新型コロナの為中止) 見本を、鉛筆で書き写してもらった。
3月	(お花見) 絵手紙教室	(さくら見学 内野さくら公園) (新型コロナの為、施設から見学) ハガキの大きさの用紙に、季節の絵を書いて、季節を感じてもらった。

桜花台園

【特養】

■運営

- ①入所検討委員会を年間4回(5月、7月、12月、3月)を開催し、待機者は16名(前年比-16)でした。待機者減少の中、円滑に利用者入所を行うため、定例2回に加え、臨時2回の委員会を開催しました。
- ②今年度退所者は5名(前年度比-1)、入院者6名(前年比2)
- ③家族会を年1回開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の為中止しています。
- ④広報誌は1回発行に留まりましたが、コロナ感染状況を踏まえ面会の調整を行い、家族との繋がりを大切にし感染予防に努めてきました。
- ⑤特養の申込や施設見学はタブレットを利用して、施設の雰囲気や少しでも理解してもらうよう努めました。また、希望する申込者には自宅訪問による申込手続きを実施し、稼働維持できるよう取り組みました。施設の稼働が維持するため取り組みましたが、特養の年間延べ日数は7,014日と前年比-76日でした。
- ⑥新たな加算として、口腔ケア充実を図り6月から口腔衛生管理加算、10月から科学的介護推進体制加算を算定開始し、入所者の状況を把握しプランへ反映しました。

■ケア

- ①全体ミーティングを年2回実施し、虐待を予防するために家族の希望や利用者の生活状況の把握などを中心に会議を行い、ケアの見直し、適切な支援についての検討を行いました。
- ②ユニットリーダー研修は職員を派遣する余裕がなく今年度も参加することができませんでした。
- ③居室の担当者が月1回の清掃チェックを行い居室の環境整備に努めました。
- ④個々の利用者の咀嚼・嚥下の状態に応じて各職種連携・検討を行い経口維持加算の算定を行いました。また、ケアプランに反映し24時間シートと連動することで毎食の評価へと繋げています。
- ⑤脳トレは継続実施し、計算・漢字・ことわざなどの学習療法も取り組んでいます。
- ⑥個別機能訓練の対象者は、8名であり、実施回数60回程度/週と前年と同様に継続できました。また、個別訓練を設ける等運動訓練を提供してきました。
- ⑦新人教育は、入職前のオリエンテーションをより充実することに努めました。理念・就業規則の説明・接遇・事故防止対策・シフト・会議等概要・提出物の説明、看護師からは感染予防・体調管理・体調異変時の報告・新型コロナを含む感染対策を中心に説明しています。介護に関しては各事業所の日々の業務マニュアルをその都度追加・変更して、新人・派遣職員へ業務やケアの指導、説明を行い統一したケアが実施できるようにしました。
- ⑧入院中の利用者の状況把握のため、医療機関と情報交換を密におこない、現場スタッフへ直近の利用者状態を情報提供することで事前にケアを予測・検討することができました。
- ⑨今年度は、2名の看取りを行い、2名看取り加算を算定しました。スタッフに負担はありましたが、看取り指針に沿って、ご家族・ご利用者の心身の負担緩和に努め、各職種連携し実施することができました。
- ⑩入所者の心身状態に応じて、転倒リスク防止の為手すりの設置、センサーマット、センサーチェアの使用を行いました。
- ⑪ケアプランのチェックは一括して行い専門性の高い視点で評価しています。また、日々の記録を紙ベースからPC(介護ソフト・ほのぼの)へ移行する取り組みを2月より開始し、最初にバイタル入力から実施し食事量、排泄記録へ段階を踏み取り組んでいます。
- ⑫事故防止対策として、ヒヤリハットを有効活用し、事故防止に取り組んできました。年間では骨折事故が2件発生しました。

■利用者諸表(特養)

入所年齢別・性別

(単位:20名)

性別\期間	60~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	計	平均年齢
男					2				2	87.5歳
女	1	1		5	4	6		1	18	86.6歳
計	1	1		5	6	6		1	20	86.7歳

男性 最高 87歳 最低 87歳

女性 最高 101歳 最低 64歳

在所期間

(単位:20名)

性別\期間	1年未満	2年未満	2~3年未満	3~4年未満	4~5年未満	5~6年未満	6~7年未満	7~8年未満	8年以上	計
男	1							1		2
女	3	2	3	3	2	0	1	1	3	18
計	4	2	3	3	2	0	1	2	3	20

ADL調査表

(単位:20名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	10	1	0	0
介助で出来る	5	12	10	4
全然出来ない	5	7	10	16
経管栄養	0			
胃ろう	0			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり) (単位: 20名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	2	10.0%	異食	2	10.0%
大声・暴言	6	30.0%	不潔行為	4	20.0%
暴力・介護抵抗	6	30.0%	独語	3	15.0%
収集癖	1	5.0%			

要介護度状況 (単位: 20名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男					2	2	5.0
女		1	3	6	8	18	4.2
計			3	6	10	20	4.3

【ショート】

- ①徘徊や昼夜の帰宅願望の認知症状を抱えるご利用者が増えていく中、ご家族と連絡・協力体制を取りながら、夜勤者・ケアマネが連携し、状態に応じた対応を行い、利用者が安心して宿泊できる環境を提供できました。
- ②連絡ノートや業務マニュアルを見直し、利用者の体調や状態など情報の共有を図りケアをすることができました。全体ミーティングも再開し、ご利用者様のケア内容について業務改善点等について話し合う機会を設けました。
- ③特養同様に、見学者や新規希望者に、タブレットや電話を活用して施設の説明を行い、新規利用者の受け入れに努めました。
- ④リハビリに関してはご利用者のニーズや希望が増加した事により、平行棒を使用し、歩行・立位訓練に取り組みました。脳トレではことわざを中心に学習機会を増やしました。また、健康体操・口腔体操も継続して実施しています。
- ⑤体調変化のサインを見逃さず、看護・介護・ケアマネと連携し、医療機関への受診を家族に依頼または受診介助し早期対応を心掛けました。
- ⑥特に新規利用者は事故リスクや不穏症状が出現する事が多いため、個別の見守りや和室への変更センサーマット、センサーチェアなどの活用により事故防止に取り組んできました。
- ⑦新型コロナウイルスの感染予防のため、園外行事のバスハイクや年6回実施していたバイキングも開催することが出来ませんでした。
- ⑧令和3年度は月の稼働率が90%を下回る月もありましたが、特養の空所利用により年間稼働率は91.5%、延べ利用者3,341日(前年比+182)、利用者数245名(前年比+42名)とどちらも増加しました。利用者数の増加は従来ロングステイ6名で対応していたものを5名としたことが主因です。ご利用者数が6名だったのが5名としたことで、短期利用のご利用者が増えた事です。
- ⑨日頃から感染対策や体調管理を行うことで、インフルエンザやノロウィルスの発生はありませんでした。
- ⑩コロナ感染予防対策として事前確認書を新たに作成し、送迎時に確認する事を徹底しました。ただ、8月に利用者様1名がコロナ陽性と判明し、2週間ロングステイ以外の受入れを中止しました。
- ⑫広報誌を年間 2回発送し、前年より多く発送することができたため、ご家族も園での状況を把握していただくことができました。

小規模

■運営

- ①令和3年度4月は登録19名でスタートし、その後は17名～20名を維持し3月は21名で終えました。
- ②1年間の実人数は226人と前年比-3名と若干減少しています。
- ③1年間の平均介護度は前年度2.3、令和3年度2.2とほぼ横ばいです。
- ④延べ利用者は6,362名(前年比-135)、内訳 訪問966(-84)、通所3,918(-118)、宿泊1,478(+67)
- ⑤新規の依頼、相談は南包括支援センター、居宅事業所からの変更相談、医療機関からの相談依頼やご家族及びご利用者からの紹介もありました。
- ⑥全体ミーティングよりも毎日のミニミーティングを小まめに行い、情報の伝達、ケア内容の統一、課題整理、解決を行ってきました。連絡ノート、書面だけではなかなか伝わらない事をその場で話し合える環境づくりに取り組みました。

■ケア

【医療】

- ①R3年度は看取りとなる対象者が1名(105歳)で現在も看取りケア対応中です。
- ②ロングステイの方は、医療連携が迅速に対応可能なつむらファミリークリニックに主治医をお願いし、看護師を中心に主治医、薬剤師と連携し、体調に応じて往診を依頼し体調管理に努めています。
- ③新型コロナワクチン接種の確認及び接種を呼びかけ、ご利用者様の体調管理、同居ご家族の体調把握にも努めました。発熱や風邪症状がある場合はその日の利用を中止させていただきました。また、年末年始・お盆・大型連休の前に同居家族の県外外出や県外からの帰省なども確認しています。

【訪問】

- ①小規模は独居や高齢者世帯の依頼が多く、ご登録者の各々のニーズに応じて訪問対応しています。特に通いのサービスがない日の安否確認、服薬介助や独居の方の買物支援を数多く提供してきました。また、訪問看護事業所や医療機関との連携も重要で、状況に応じ報告・往診相談・訪問内容の変更を行ってきました。

【リハビリ】

- ①専門職(PT・OT)が在籍していないため、令和3年度も介護職が生活リハや体操、リハビリバイク等のリハ機材を利用しADLの維持に努めました。
- ②高齢者向きの健康、リハビリ、タオル体操を1日2回と全体の体操を継続しています。
- ③全体の体操としてタオル、リハビリ体操を実施してきました。足元気体操やごぼう先生の毎日10分の健康椅子体操などを取り入れ下肢の筋力の維持に努めてきました。

【家族会】

- ①令和3年度は新型コロナウイルスの感染予防の為開催は中止しています。

【行事】

- ①昨年同様、年間を通して外出行事は全く実施する事は叶いませんでした。園内のクリスマス会程度となりました。桜公園への散歩や花見に行くことで気分転換を図りました。
- ②2か月に1回のバイキングも年間を通して中止しています。

【共通事項】

- ①事故防止対策としてヒヤリハットの活用の幅を広げる事により事故リスクの認識を一人、ひとりが意識し情報を共有できるように努めました。また、事故後の2週間を目途に評価を実施しています。今年度は与薬漏れの事故報告を繰り返すことがありました。
- ②新型コロナウイルス感染予防の為、ミーティングや園内研修を殆ど開催する事ができませんでした。

■看護

1 入居者、ご利用者の些細な変化を早めに把握・報告し、嘱託医や主治医の指示により早期受診や点滴等施設で可能な医療の提供により、重症化・重篤化の回避を目指しました。

①他院受診状況

内科7回(7名)、整形外科13回(5名)、フットケア2回(2名)、眼科往診13回(2名)
耳鼻咽喉科5回(1名)、皮膚科7回(5名)、泌尿器科4回(3名)、脳血管内科1回(1名)
眼科受診16回(3名)、脳外3回(3名)予防注射2回(2名)

②嘱託医等の回診51回、応診23回

③はくあいクリニック胸写:入所時2名、定期胸写の精査2名

④入院6名 入院期間延べ190日(特養のみ)

⑤救急搬送 特養4名

内訳は肝腫瘍からの出血、胆嚢炎、左大腿骨転子部骨折、虚血性脳卒中

2 夜間医師指示受け及び看護師対応状況

救急搬送1(特養1) 医師への報告3(特養1、小規模2) 看護師対応(特養・ショート・小規模各2)
夜間帯の救急搬送は特養の肝腫瘍からの出血の1件だけでした。

3 感染対策

毎月、感染環境委員会を開催し、感染症・食中毒の予防、蔓延防止に努めました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンダード プリコーション	手指消毒・環境整備	熱中症	食中毒	疥癬	結核
10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザ 新型コロナウイルス対策	ノロウイルス (発生時の対応)	誤嚥性肺炎	レジオネラ症	腸管出血性 大腸菌感染症	安全な職場環境

新型コロナウイルス感染と予防対策(令和3年度追加施行分)

- ・今年度の罹患者は特養入居者0、ショート名1職員の感染者は2名、うち1名は家族よりの感染でした。
- ・ゾーニングの徹底(各事業所間、休憩場所、送迎用車両等)、ガウンテクニック研修実施
- ・特にショーステイのご利用者の状態(家族含む)事前確認の徹底、状態変化時の迅速な対応
- ・全職員PCR検査施行、3回目ワクチン接種状況把握、アレルギー以外の方は接種勧奨

4 褥瘡対策

介護職員向けに6月16日、12月15日に褥瘡対策勉強会を実施

今年度褥瘡形成者4名

5 看取り

特養入所時に入居者、ご家族に看取りケアについて説明

・5/19介護職員向けに「看取り介護の指針」の勉強会他、4回の看取り学習会実施

特養退所者 5名 うち死亡による退所3名(うち看取り介護加算2名算定)

6 喀痰吸引について

吸引該当するご利用者がいない為研修を実施せず

7 緊急時対応

4月 夜間緊急時の対応(4月21日)

5月 送迎、訪問時等 異常発見時の対応(5月19日)

8月 介護士向けガウンテクニック研修実施。

11月 嘔吐者発生時の訓練実施

8 新入職員研修

感染対策 6名、入社日に実施

夜間緊急時の対応(3名)・・・当直する職員に当直開始時に実施
(8/10、9/10、2/24)

■行事实績(施設全体)

実施時期	行事名	内容・成果
4/20(火)	小規模:アロママッサージ	アロマでの手のマッサージやマニキュアコーデ
5/14(金)	小規模:アロママッサージ	アロマでの手のマッサージやマニキュアコーデ
6/20(日)	特養:父の日	プレゼント、写真撮影
7/12(月)	小規模:軽食	プリンデコレーション 自己紹介(職員、利用者)
9/20(月)	敬老会	式典中止:ユニット毎の表彰 15:15前後開始
10/2(火)	芋ほり	桜花台園にある畑で芋ほり
10/21(木)	芋パーティー	ふかし芋、スイートポテト試食
11/20(土)	小規模:外出行事	八女のイチヨウの木の見学 人が多かったのでバスの中から見学
12/15(水)	小規模:クリスマス会	プレゼント配布、写真撮影など
1/1(土)	新年祝賀式典	式典中止、理事長の園内放送による新年のご挨拶

定例行事

実施回数	行事名	内容・成果
0回	バイキング (小規模・ショート:特養)	開催なし
4回	散髪	訪問散髪
0回	横山先生の音楽リハビリ	開催なし

■研修実績(外部)

実施時期	研修名	内容・成果
9/14(火)	高齢者虐待・権利擁護研修	虐待予防について
11/29(月)	身体拘束ゼロ施設見学会	特別養護老人ホーム 八女の里
12月14日	介護支援専門員研修会	「利用者の自己決定の尊重に、基づく支援を学ぶ」

■研修実績(内部)

実施時期	研修名	内容・成果
11月15日～	排泄ケアについて	各自動画視聴
11月15日～	虐待予防研修	久留米市が作成している虐待予防についての動画を各自視聴
11月18日	事故防止対策研修	事故の種類、事故後の対応について
2月17日	事故防止対策研修	事故予防について

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7/20(火)	南圏域意見交換会	行方不明者の協力体制づくり ・離接者が出た場合の連絡網の作成 ・離接者の情報伝達手順・マニュアルの作成 高良内くらしの便利帳作成について
9/21(火)	南圏域意見交換会	行方不明者の協力体制づくり ・離接者が出た場合の連絡網の作成 ・離接者の情報伝達手順・マニュアルの作成 高良内くらしの便利帳作成について
11/24(水)	南圏域事業所・包括意見交換会	パンフ作成、行方不明者マニュアル作成など
12/26(水)	南圏域事業所・包括意見交換会	パンフ作成、行方不明者マニュアル作成など

唐孔雀園、桜花台園(栄養・地域配食)

■運営

・年間栄養課目標

- ①栄養ケア計画書を中心とし、入所者の身体状況を把握し、特徴・問題点を捉えた日々のケア・アセスメントを通して、個々の状態にあった食形態を提供する。
- ②常に専門知識と技術の向上に努め、多職種と連携を図り質の高い食事サービスを提供する。

結果

①唐孔雀園は毎週水曜日、桜花台園は1回/月に栄養カンファレンス(メンバー:施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・総務、委託栄養士・管理栄養士)を実施し、常に利用者様の状態にあった食事を提供できるように、摂取量・水分量・体重変動・皮膚状態嚥下状態・検査値に基づいて対応しました。また、施設課との連携を密にして日々の体調変化にも迅速に対応しました。

継続して経口維持ラウンド、会議に取り組みました。(メンバー:医師・施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・管理栄養士)経口摂取に問題のある方、誤飲誤嚥のあるリスクの高い方

に対し、唐孔雀園では第1、第3木曜日の11時からラウンド、会議を行いました。桜花台園では第2火曜日の11時からラウンド、15時から会議を行い、安心、安全に経口摂取していただけるよう多職種で意見を出し合い対応しました。

②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、コロナ感染対策により全て中止。

③給食会議はコロナ感染対策により、各施設リーダー会議の中で報告実施しました。

・配食サービスの目標

令和3年度1941食

・地域支援プロジェクトの目標

地域との交流・貢献と法人PRを兼ねて、今年度も料理教室を開催予定でしたが、コロナ感染予防のため中止しました。

①「防災の日」について

今年度は、炊き出し訓練を行わず、ご利用者様に防災の日の意識付けを兼ねて、ランチョンマットを作成し、 Disposable 食器にて食事の提供を行いました。

■衛生管理

個人の衛生管理、食品の取り扱い衛生管理等はマニュアルに沿って実施しました。

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
5月5日	子供の日	鯉のぼり ねりきりを提供
7月7日	七夕膳	七夕そうめん・七夕ゼリー等提供
8月14日	精進風料理	お盆入りのため、精進風料理(そうめん・和え物)を提供
9月1日	防災の日 非常食	防災のランチョンマットを作成。献立はおにぎり・漬物・豚汁・鯛蒲焼缶・ヨーグルト・バナナ・ビスコ
9月20日	敬老膳	ランチョンマット作成。押し寿司(3種)、海老チリ、筑前煮、紅白なます、西京焼き、茶碗蒸し、清汁
10月31日	ハロウィン	南瓜グラタン
12月24日	クリスマス膳	パエリア、ミートローフ・コロッケ盛り合わせ、イタリアンサラダ、クリスマスケーキ、オニオンスープ
1月1日	おせち	昼・夕おせちを提供
2月14日	バレンタインデー	ハート型ハンバーグ、チョコパバロアを提供
3月3日	ひな祭り	海鮮散らし寿司、揚げ出し豆腐、辛子和え、めびなまんじゅう、清汁

■研修会

実施時期	研修名	内容・成果
3月8日	特定給食施設等研修会	オンライン参加 HACGPIに沿った衛生管理、介護報酬改定について